

地域振興策の実施状況について



阿茂瀬川の改修については、第2川永野橋の取付道路が概成したことから、9月30日に供用が開始されました。さらに、給水設備の整備についても、市と連携を図りながら、上水道への切替に取り組んでいます。

また、百次・木場茶屋線の川永野工区の現場拡幅の工事を進めており、バイパス部交差点から処分場側約400mは年内に概成の予定です。

今後とも、地域振興策の円滑な実施に取り組んでまいります。

イベント情報について



平成25年11月23日(土)から25日(月)の3日間、プラッセだいわ川内店(矢倉)1階イベントホールにおいて、「第26回まちづくりウォッチング」(主催:県建築士会川薩支部)が開催され、公社もパネルや模型を展示する予定です。

当日は、建築士会による建築無料相談会、ペーパークラフトコーナーやクラフトパルーンコーナーなどのアトラクションも予定されていますので、是非、ご家族お揃いでお越しください。

【問い合わせ先】

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社 〒895-8501 薩摩川内市神田町1番22号 電話 0996-21-1220
○鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 電話 099-226-2650

※この「環境整備公社だより」は、当公社ホームページ(<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>)にて閲覧いただけます。

環境整備公社だより

VOL. 11

平成25年11月
鹿児島県
公益財団法人鹿児島県環境整備公社

エコパークかごしま安全監視委員会による第3回施工状況調査について

エコパークかごしま安全監視委員会による施工状況調査が、今年6月に続き、10月17日に実施されました。当日は、平田登基男委員長(鹿児島工業高等専門学校名誉教授)をはじめ12名の委員が参加され、公社職員の説明を受けるとともに、覆蓋施設工事や防災調整池工事などの施工状況等の調査・確認を行いました。

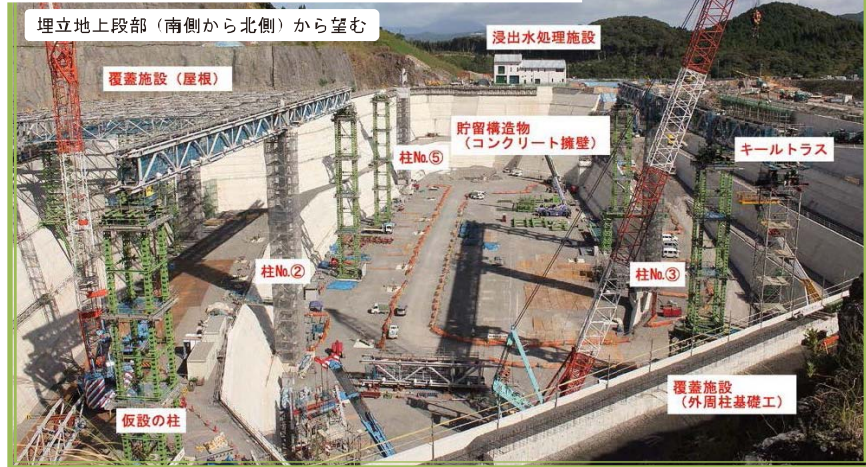
調査終了後、平田委員長から「丁寧に施工されている」、「遮水シートは、コンクリート擁壁面がきれいに仕上がっているの、この面に漏水が起こらない施工を期待したい」などのコメントがありました。



鹿児島県副市長会による現地視察について



エコパークかごしま（仮称）整備工事現場作業の状況



①覆蓋施設工事

埋立地内の柱を施工し、キールトラス（梁）の一部を架設しました。順次、南側から北側に屋根工事を進めていきます。

キールトラスは、現場に搬入した部材を組み立てた後、クレーンで吊り上げて架設します。



②浸出水処理施設

浸出水処理施設については、外壁及び屋根工事が完了しました。

今後は、処理設備の設置や内外装工事を実施する予定です。

③防災調整池工事

防災調整池は、下流河川等への雨水の流出を抑制するために設置する施設です。

現在、造成工事を進めており、掘削工事が完了した箇所から、順次、法面工事を実施しています。

また、放流設備（放流塔及び放流管）についても、年内の完成に向けて、放流塔のコンクリート打設及び放流管の敷設工事などを進めています。



覆蓋施設について

①施設構造について

- ・建築基準法に基づき、構造解析を行い、耐震性を確保しています。
- ・屋根は折板材を使用し、その延長は最大326m、幅160mで概ね東京ドームと同程度の広さです。
- ・埋立地内の5本の柱は、コンクリート充填鋼管構造です。

また、埋立地外の柱及び梁（キールトラス等）は、鉄骨造としています。



②効果について

- ・埋立地内への雨水の流入や粉じん・臭気の周囲への飛散及び拡散を防止します。また、天候に左右されないで、計画的な散水により廃棄物の早期安定化が図れます。
- ・埋立地内にある5本の柱の間隔は、最小61.5m、最大139.5mであり、廃棄物を埋め立てる作業がしやすい空間を確保しています。